

## 呼和浩特市高校生サマーキャンプ感想文

都築 愛未

サマーキャンプに参加をして私は、さまざまな文化や習慣に触れ、体験することができました。

呼和浩特市に行くまで、私は中国に対してあまり良いイメージを持っていませんでした。

しかし、実際に行ってみると、呼和浩特市の方々があたたかく迎え入れてくれて、とても親切で優しい方が多かったです。朝、すれちがう時に你好(ニーハオ)と笑顔で挨拶をしてくれたり、道に迷った時に、親切に案内してくれたりと優しく、面白い人がたくさんいました。

私が一番印象に残っていることは、ホストファミリーとの交流です。

お世話になった王子さんの家は5人家族で、

とても元気で優しい人達でした。

ホームビジットの中で一緒に博物館や、

ショッピングセンターに行きました。

文化や習慣、言葉の発音でさえも違い、

新しい発見でワクワクでした。お互いに

自分の国の文化や習慣を聞きあったり、

教えあったりしました。



ホストファミリーと

その中で驚いたことは、外食をした際に、

食べ残したご飯や飲み物などを持ち

帰ることができるということです。

お持ち帰り用の袋やパックもお店の中に用意されており、日本とは違う持ち帰り方

にも驚きました。

お土産の中で私は扇子をあげたのですが、これが家族全員に好評価で特に王子さんの

弟くんは扇子をもちながら踊ってくれるぐらい気に入ってくれたので、嬉しかったです。

す。

英語でうまく伝えられない事も多かったけれど、一緒に遊んだり笑いあったりして

過ごした1日はとても楽しかったです。

王子さん家から頂いたノートやアクセサリーは私の一生の宝物です。

交流会を通じて私は無理に英語をきちんと話す必要はないんだ、と感じました。

単語を単発に言うだけでも相手には伝わるし、会話をしよう！という気持ちでジェスチャーをしたり試行錯誤していると、自然とコミュニケーションがとれることを知りました。

他国の子達とミニゲームをしたり、キャンプファイヤーの時に一緒にぐるぐる回って踊ったこと、別れるのがつらいぐらい大切な友達ができたこと。

今でも鮮明に覚えています。



交流会の中で

サマーキャンプに参加をしたこの8日間、さまざまな国の文化や価値観を学び、もっと他国のことが知りたい！という興味が湧きました。この体験を生かして、自身の成長に繋げ、今後も積極的に他国の子達と交流をしたり、英語はもちろん、他言語も学んでいきたいです。



草原にて

交流をしている中で私は自分の住んでいる岡崎の魅力に、改めてたくさん気づきました。伝統的であたたかく、魅力あふれるこの岡崎の良さをたくさんの人に伝えられるような人になりたいです。

最後に市役所の方々をはじめ、多くの方々のおかげでとても楽しく、貴重な1週間を過ごすことができました。この経験は私の人生の宝物です。本当にありがとうございました。